

平成30年度 年間事業計画

萩原保育園

平成30年度は、改定保育所保育指針の施行やキャリアアップ研修の実施など保育士等にとって大きな節目の年となる。保育所保育指針においては、特に乳幼児期の保育の重要性から小学校への接続までの育ちを踏まえた保育計画等記載内容の充実や子育て支援の章の新設などが見直された。また、本年度から本格的に実施されるキャリアアップ研修について、保育士等の研修受講計画策定など保育所（園）の課題が残されている。

職員全体の保育の質を高めていく為に、研修の成果が職員間で共有できるよう努めていく。

【平成30年度の重点的取り組み事項】

1. 保育内容の向上

- (1) 子どもが自ら体を動かして生き生きと遊びこめる環境や心地よくくつろげる場の充実
- (2) 子どもの姿を通して語り合う保育者同士の関わりの場を設け、保育の振り返りを積極的に going していく
- (3) 園内研修の取り組みの充実
 - ・ 外部研修での学びを保育所全体の保育実践の質及び専門性の向上につなげていく。
 - ・ 保育所保育指針についての理解を深めていくため、全体的な計画の見直し検討を行っていく。
- (4) 当法人内6施設における研修の取り組み
 - ・ 処遇改善等加算対象職員に対し、法人内研修を年4回実施し、各担当分野の職務内容について職員がより深い知識を持てるよう研修を実施する。
 - ・ 研修会場は各施設を利用し、自園との違い等を見ることで環境や配置に関心を持ち、視野を広げる。
〈第1回〉日時・会場：平成30年4月14日(土) 14時～ 北方保育所(予定)
対 象：施設長・主任保育士・副主任保育士
研 修 科 目：副主任としての職責と担当業務、当法人の概要

2. 円滑な園の運営と充実

- (1) 地域交流
 - ・ 地域の年長者との交流の充実を図る。
 - ・ 新たに近隣の老人施設への訪問を計画する。
 - ・ 青山市民センターまつりへの参加や保育士による親子遊びの提供を継続していく。
- (2) 小学校との連携
青山小学校との連携の充実をはかっていく。

3. エコ活動の取組

リサイクルの取組→ダンボール・プルタブ・ペットボトルのキャップの青山市民センターへの持ち込みを継続していく。

4. 施設整備及び管理

- ・ 園内の直管蛍光灯交換数が増加している為、LED への交換を計画したい。
- ・ 運動会での使用や避難用としてテント(1 張)の購入を行う。
- ・ 園舎が建って13年目に入り、今後ドアや窓・門・厨房機器などの修繕箇所が増えることが予測される為、中長期的に計画を立てて、取り組んでいきたい。

【平均児童数／4月入所予定児童数】

定員130名

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
平均児童数	10名	21名	22名	23名	24名	23名	123名
4月入所予定児童数	13名	22名	20名	18名	24名	21名	118名

【一時保育利用状況見込数】

未 満 児		以 上 児		合 計	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
60 件	120,000 円	0 件	0 円	60 件	120,000 円

※通常保育の集団構成と異なることから、一人一人の子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するよう心がける。

保育園に来た子どもにとって気持ちよく、ゆったりと過ごせるように心がける。

≪ 職員配置 ≫ 必要に応じて日々雇用職員を雇用

【延長保育利用状況見込数】

利用登録人数(年間)	200名	平均実利用者数	8名
------------	------	---------	----

※長時間保育になるので、ゆったりとくつろげる雰囲気作りに心がける。

縦割り保育の利点を十分に活用し、保育を行う。

≪ 職員配置 ≫ 正規保育士 1名(時間外にて対応)・臨時保育士 1名

1. 保育理念

児童福祉施設として乳幼児の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人ひとりの特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

2. 保育方針

- (1) 十分に養護の行き届いた温かい環境をつくる。
- (2) 愛情と信頼関係をはぐくみ、人間性の輪を広げる。
- (3) 園外保育や地域の行事を積極的に取り入れる。
- (4) 常生活の会話を通して豊かな言葉を養う。
- (5) さまざまな体験を通して豊かな感性、創造性を培う。

3. 保育目標

一人ひとりの子どもの個性を大切にしながら、心身共に健やかに生活し、将来健全な社会人に育つための基本を培う。

- ・ 健康で元気に活動できる子ども
- ・ 自分で考えて行動することができる子ども
- ・ 思いやりのある優しい心をもつ子ども

○ 保育内容

年齢（月齢）別に指導計画を立て、子どもの「やりたい」気持ちを尊重しながら安定した生活が送れるようにする。

- ・ ゆったりとした楽しい雰囲気の中で、基本的な生活習慣が身につくようにする。
- ・ 友達との遊びを通して、社会性・協調性・仲間意識・友達への思いやりが育つようにする。

○ 行 事

年間行事(地域交流) 予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊び遠足等は事故防止対策について職員間でよく検討してから実施する。
- ・ 生活発表会、運動会等は個性を大切にしながら全児を公平に参加できるようにする。

○ 安全対策

- ・ 避難訓練を毎月1回、多様な場面を想定して行う。年1回は消防署立ち合いの総合訓練を行う。
- ・ 交通安全指導及び設置遊具の安全指導を行い、合わせて安全点検を随時行う。
- ・ 施設内外の安全点検に努め、安全対策のために全職員の共通理解や体制づくりを図る。（不審者の立ち入りなどの緊急時の体制、火災発生時の体制、地震・風水害時の体制等）
- ・ 「ヒヤリ・ハット」の報告を大切に、園全体で情報を共有し安全保育に努める。
- ・ 送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。

- ・ 与薬については、医者が出した薬のみに限る。その際必ず所定の用紙に記入するよう指導する。
- ・ 食中毒等については、常に衛生管理に気を付け、調理員については特に食中毒予防の三原則を守るように指導する。

○ 地域との交流

- ・ 地域の在宅乳幼児を園に招き、交流をもつ。
- ・ 地域の年長者を招待し、交流を行う。
- ・ 小学校との交流体験を行う。
- ・ 卒園児を招待し、在園児との交流を深める。

○ 保育時間

保育標準時間 午前7：00から午後6：00まで

保育短時間 午前9：00から午後5：00まで

(保育時間を超える時間は、延長時間として対応)

○ 保育担当

クラス担当保育士、調理業務担当、事務担当を定める。

○ 職員研修

- ・ 全国大会をはじめ県、市が行うものまた、保育士会の各種研究研修会に参加する。参加した者は報告を行うと同時に、園内研修へと広げていく。
- ・ 毎月の職員会議において、指導計画の立案、問題点について話し合い共通理解をもつ。

4. 保育担当者 (別紙2の通り)

5. 保育設備

(1) 敷地 北九州市八幡西区青山一丁目7番50号 1, 162.73m²

(2) 建物 鉄筋コンクリート造 2階建 819.75m²

6. 資金計画

通常経費は、

- ・ 委託費収入・私的契約利用料収入・補助金事業収入・受託事業収入
- ・ 受入研修費収入・利用者等外給食費収入・その他の事業収入
- ・ 雑収入・受取利息配当金収入 等によるものとする。

【 平成30年度主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
4 月	平成30年度 入園・進級式・ 保護者会総会・クラス懇談会	全児・保護者	保 育 園 内
	固定遊具安全指導	全 児	保 育 園 内 ・ 園 庭
	交通安全指導	全 児	保 育 園 内 ・ 園 庭
	よもぎ団子作り	全 児	保 育 園 内
5 月	こどもの日の集会	全 児	保 育 園 内
	健康診断 1回目	全 児	保 育 園 内
	職員健康診断	職 員	健 康 セ ン タ ー
	親子ふれあい遠足	全児・保護者	未 定
	卒園児交流会	全児・卒園児	保 育 園 内
	シルエット劇観劇	年 長 児	黒崎ひびしんホール
6 月	保育参加・給食試食会	全児・保護者	保 育 園 内
	歯科検診	4・5歳児	保 育 園 内
7 月	プラネタリウム見学	年 長 児	児 童 文 化 科 学 館
	七夕まつり	全 児	保 育 園 内
	プール開き	全 児	保 育 園 内
	おまつりごっこ	全 児	保 育 園 周 辺
	個人懇談会	保 護 者	保 育 園 内
8 月	個人懇談会	保 護 者	保 育 園 内
	プール納め	全 児	保 育 園 内
	不審者訓練	全 児	保 育 園 内
10月	健康診断 2回目	全 児	保 育 園 内
	大運動会(卒園児・地域交流)	全児・保護者・卒園児	青 山 小 学 校
	青山小学校音楽会	4・5歳児	青 山 小 学 校
	青山市民センター祭り参加	3・4・5歳児	青 山 市 民 セ ン タ ー
11月	消防総合訓練	全児・地域住民・消防署	保 育 園 内
	秋の遠足	全 児	未 定
	車椅子バスケット観戦	年 長 児	総 合 体 育 館
12月	生活発表会	全 児	保 育 園 内
	クリスマス会	全 児	保 育 園 内
	ミニ発表会	全 児	保 育 園 内
	もちつき大会	全児・地域住民	保 育 園 内
	年末地域清掃	3・4・5歳児	保 育 園 周 辺

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
1 月	縦割り保育 食育教室（親子クッキング） 郵便ごっこ たこ作り・たこあげ大会	3・4・5歳児 年 長 児 3・4・5歳児 年 長 児	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
2 月	節分・豆まき 作品展・おみせやさんごっこ 保育参加・講演会	全 児 全 児 全児・保護者	保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内
3 月	就学前交通安全指導 お別れ遠足 お別れ会食 お別れ式 卒園式 修了式	年 長 児 全 児 全 児 全 児 4・5 歳 児 在 園 児	交 通 公 園 未 定 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内 保 育 園 内

1. 月例行事

- ・ 誕生会 ・ 避難、消火訓練 ・ 身体測定 ・ 音楽指導（3歳以上児）
- ・ 全職員細菌検査 ・ 給食関係職員O-157検査 ・ 定例職員会議
- ・ 園内研修 ・ 図書貸し出し
- ・ 毎月始め 園便り・クラス便り、献立表・給食便りを発行する。

2. その他

- ・ 一日保育士体験、中学生の保育園実習
- ・ 小学校との交流（年間4回程度） ・ 萩原遊ぼう会（年間6回程度）
- ・ 年長者交流会（年間4回程度） ・ 老人施設訪問（年長児）
- ・ お泊り保育（年長児）
- ・ 保育園内消毒 ・ 消防設備機器点検 ・ 設置遊具等の安全点検
- ・ 月曜集会（3歳以上児）・月曜集会体操（全児）
- ・ 個人懇談
- ・ ボランティア体験学習受け入れ
- ・ 青山まちづくり協議会に参加し、地域との連携を図る。
- ・ 事業協会 施設長定例会議及び主任保育士会議は必要に応じて開催する。

3. 職員研修については、保育者としての資質向上の為一人でも多く各種研修会に参加させる。

4. 青山市民センター及び育児サークル等の活動に積極的に参加し、子育て支援を行う。